

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム 平成 29 年度第 3 回企画運営委員会議事録(案)

1. 開催日時

平成 30 年 6 月 27 日 (水) 14:00~16:00

2. 開催場所

熊本県庁本館 6 階 601 会議室

3. 開会あいさつ

・滝川委員長より、平成 29 年 12 月 1 日に開催されたフォーラム設立総会以降の活動経緯と、環境省の有明海・八代海等総合調査評価委員会の説明があった。また、国の対策をさらに加速するには、地元熊本県の方が中心になって意思統一を図っていただき、心を密にして議論していただきたいとのあいさつがあった。

・崎元理事長より、日本で東京湾の次に設立された熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムは、東京湾モデルに負けないよう産・官・学・民で力を合わせて沿岸域の環境、防災等に尽力して頂きたい。本フォーラムは、強力なメンバーで構成されており必ずや意義ある仕事を全うできると期待しているとの挨拶があった。

4. 議事次第

《審議事項》

- (1) 平成 29 年度 事業報告・決算報告・監査報告
- (2) 平成 30 年度 事業計画(案)・予算(案)
- (3) 平成 30 年度 通常総会議題(案)

《報告事項》

- (1) プロジェクトチーム活動報告について
 - ① 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム
 - ② 活動 PR 戦略プロジェクトチーム
- (2) ホームページの公開状況と学習館協力をお願い

その他

- (1) 今後の活動について
- (2) その他

資料 1 : 平成 29 年度事業報告・決算報告・監査報告資料(案)

資料 2 : 平成 30 年度事業計画及び予算(案)

資料 3 : 平成 30 年度熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム通常総会議事次第(案)

資料 4 : ホームページの公開状況と学習館協力をお願い

5. 出席者

(委員等) 崎元議長、滝川委員長、中田委員、上久保委員、中川代理、萩ノ脇委員、橋本委員、武宮委員、中川委員、米田委員、佐藤委員、舛本委員、山下代理、川岸委員、田代監事、城戸監事

(オブザーバー) 鳩野氏、長岡氏、山本氏

(随員) 森田氏、後藤氏、福元氏、金丸氏、本嶋氏、野田氏、中川氏、田村氏

(シナリオ作成 WG) 後藤氏、岩井氏、加世田氏

(事務局) 中田、西本、平、高木

6. 議事

《審議事項》

(1) 平成 29 年度 事業報告・決算報告・監査報告

- ・事務局より平成 29 年度事業報告・決算報告について説明があり、承認された。
- ・監事より監査結果の説明と内容が適切に処理されているとの報告があり、承認された。

(2) 平成 30 年度 事業計画 (案)・予算 (案)

- ・事務局より事業計画 (案)・予算 (案) について説明があり、提案通り承認された。

(3) 平成 30 年度 通常総会議題 (案)

- ・事務局より 11 月予定の通常総会議題 (案) について説明され、提案通り承認された。

《報告事項》

(1) プロジェクトチーム活動報告について

1) 八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム

- ・川岸 PT 長より、平成 29 年度活動状況の報告と、平成 30 年度の活動計画について説明された。(資料 1、P.13 資料 2、P.4 参照)
- ・橋本委員より、平成 30 年度の計画で 9 月までに関係者への周知・共通認識の形成を進めるとなっているが、科学的な根拠をもって住民へ説明する予定か、それともヒヤリングや意見聴取をするのかとの質問があり、PT 長から、平成 29 年度に実施した 2 回のアンケート結果をとりまとめて、住民等関係者の認識との検証を行う予定であることの説明があった。
- ・橋本委員より、平成 29 年度報告の問題点の整理で、排水不良と書かれているが、熊本県の農林水産部へ確認したところ排水対策は実施されており、浅海化で排水不良が発生することは無いとの意見であり、科学的根拠を十分詰めた段階で住民等関係者との意見交換会を実施していただきたいとの提案があった。この提案に関しては、PT 長から提案に配慮するが、排水不良は、原因要因の結果と判断している。本プロジェクトは原因要因の対策について、共通認識を形成し

ていこうと考えているとの回答があった。

- ・滝川委員長より、要因の一つを議論するのではなく、これまでが充分であったか不足しているのかを踏まえ、皆で仲良く良い方向へ議論することが目的であるとの意見があった。

(2) 活動 PR 戦略プロジェクトチーム

- ・上久保 PT 長より、平成 29 年度活動状況の報告と、平成 30 年度の活動計画について説明された。(資料 1、P.14 資料 2、P.5 参照)
- ・上久保 PT 長より、有明海についても関係機関へ協力を依頼して本プロジェクトチーム活動を繋げて行く旨説明された。
- ・橋本委員より、フォーラムの活動について、県民に情報発信することで、活動を盛り上げてはどうかとの意見があった。

(3) ホームページの公開状況と学習館協力のお願ひ。(資料 4 参照)

- ・事務局より資料 4 について説明・報告があった。HP の閲覧状況は、月平均 300～400 件の実績があると報告があった。
- ・事務局より他団体紹介コーナーとして、湾奥での NPO 加盟団体を調査しているが宇土半島で一団体確認できているのみであり、その他に団体の存在があれば、委員から紹介してもらいたいとの依頼があった。
- ・橋本委員より、ホームページの学習館開設に伴い、子供たち或いは県民の方がもっと八代海、有明海の環境について学べる場づくりが HP で PR できないか検討していきたい旨の提案があった。

(4) 有明海沿岸域のプロジェクトについて

- ・滝川委員長より、有明海沿岸域再生のプロジェクトの設立について、次の意見があった。

八代海湾奥の再生プロジェクトについては、熊本県の県議会で重要事案として至急検討の進言を受け、熊本県環境生活部環境立県推進課の課長名で設置依頼があった。つまり、フォーラム総会前からの課題事項であり、設立当初からの PT として活動を進めている。併せて、有明海沿岸域も同時進行で取り組む予定であったが、意思疎通が充分でなく、未だ設置には至っていない。八代海及び有明海の再生プロジェクトについては、熊本県にとっての重要課題であるため早急に取り組む必要がある。

- ・橋本委員より、委員長意見は、フォーラムを活性化させたい思いの中で前向きな意見をいただいたものと捉えたいとの発言があった。

7. その他

(1) 今後の活動について

- ・平成 30 年度企画運営委員会と総会の日程について委員に再確認があった。

通常総会 第 1 候補 11 月 16 日 第 2 候補 11 月 14 日

企画運営委員会 第 1 候補 10 月 30 日 第 2 候補 10 月 31 日

熊本県環境立県推進課により県庁会議室の予約状況を確認してもらい、上記何れかの候補日で開催することとなった。

- ・事務局から会議参加者に向けて、今後の活動について議論を深めるため提案・議題等があれば、メールで事務局へ連絡していただきたいとの依頼があった。

(2) その他

- ・滝川委員長より有明海沿岸域再生も新たな PT チームとして立ち上げたいと提案があり、さらに国へのアピールをも含め進めていくための協力依頼があった。

以上